

東京都オリンピック・パラリンピック国際交流プロジェクト (大田区立萩中小学校での実施報告)

渡部 千秋・伊藤 誠

東京都教育委員会が主催する東京オリンピック関連「世界ともだちプロジェクト」の一環として、東京都と大田区立萩中小学校より、ゲストティーチャーの授業要請を受け、「遠くて近い国アルゼンチン」のタイトルで、2019年9月6日同校小学6年生約70名を対象に授業を行いました。

児童達も真剣に聞いて、質問やその後の感想文からも、アルゼンチンへの関心と理解が深まり、担任の関口教諭からも子供達も大満足だったとのコメント頂きました。協会としても、今後もこの種の活動を続けていく所存です。

当日の授業の構成を紹介しますと、担任教諭からの要望も踏まえ授業90分を以下のように進めました。

1. パワーポイントでの伊藤理事による「遠くて近い国アルゼンチン」のプレゼンテーション 45分
アルゼンチンは何処にある？どのくらい遠いか？時差は？季節は？どんな国か？迫力満点大自然（イグアスの滝、氷河、パンパ大平原）スポーツ大国（メッシ、マトラーナ）食べ物（アサード）等を質問形式で動画も交えて紹介し、児童達は熱心にメモを取りながら聴き、最後の簡単なスペイン語講習では楽しんで復唱していました。



2. 休憩 10分



日本ラテンアメリカ文化交流協会（三村会長）よりの展示物とそれらの解説ガウチョの衣装、ポンチョ、マテ茶用ボンビージョ、サッカーユニフォーム、国旗、ボカの旗楽器ーサンポーニャ ケーニャ、チャランゴ(アルマジロ製、木製) 写真パネル 他生徒が触ったり、楽器を吹いたり、質問したりして、現物を楽しんでいました。

左:展示品の中からサンポーニャを取り出し吹こうとする児童たち

3. アルゼンチンタンゴとフォルクローレの生演奏 20分 プロギタリストの三村会長の演奏
プレゼンテーションで説明した音楽の生演奏、「ラ・クンパルシータ」や「コンドルは飛んで行く」などを演奏しタンゴ等のリズムの手拍子も指導し、生徒も楽しそうに興味をもって聴き入っていました

伊藤理事のプレゼンテーションから音楽生演奏まで、生徒に飽きさせないで、アルゼンチンへの関心と興味を持たせるという目的は達せられたと思います。

東京都教育庁の吉村担当官も立ち会われ、当協会の行き届いたプレゼンテーションに感謝され、撮影いただいた沢山の写真もご提供いただきました。

後日、萩中小より協会宛に児童 66 名全員からの感想文が送られて来ました。「遠くにあるアルゼンチンがこんな大国でいい所とは知らなかった」とか「いつかアルゼンチンに行ってみよう」という感想が目立ち、我々ゲストティーチャー側も授業を受けた児童達にも有意義な行事でした。



展示品前にて：左から伊藤理事、天利氏（三村氏アシスタント）、渡部常務理事、三村会長

写真ご提供：東京都教育庁

(わたなべ ちあき：当協会常務理事)

(いとう まこと：当協会業務執行理事)

次ページに授業冒頭のプレゼンテーションタイトルと授業後児童の皆さんが書いてくださった授業感想文を掲載しています。児童たちからは「大変参考になりアルゼンチンへの興味が大いに湧き立ち、ラテン地域への関心を持った」など多くの嬉しいコメントがありました。

遠くて近い国



アルゼンチン



2019年 9月

(一般社団法人) 日本アルゼンチン協会

